

こんにちは

# 酒井まさえです



2024年9月29日 No.177 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111  
090-9325-5676 sakaimasae.0507@gmail.com

## 杉並区議会第3回定例会一般質問

### 「ケアする人をケアする」取り組みの推進を！



9月11日 一般質問を行う

9月11日、区議会第3回定例会で、「介護について」「放課後等デイサービスについて」「都市計画道路補助133号線について」一般質問を行いました。

#### 介護の人材不足は深刻

介護保険制度は、制度開始から24年が経過しました。高齢者の介護を社会全体で支え合う「介護の社会化」として創設されましたが、保険料や利用料の負担増、軽度者の保険外し、要介護1・2の特養入所の締め出しなどの改悪が強行されてきました。

さらに、今深刻なのが、介護現場の人手不足です。ホームヘルパーの年齢構成は60歳代以上が4割を占め、80歳代のヘルパーが現場の重要な戦力となる一方、20歳代のヘルパーは全体の4%にすぎません。こうしたことになった要因は、介護従事者の過酷な労働と低処遇です。介護職の平均給

与は全産業平均よりも「8万円低い」とされています。

#### 「ケアする人をケアする」

#### 取り組みは重要



私は、介護の人材不足に対する認識と、岸本区長が進める「ケアする人をケアする」取り組みの意義と今後の展望を問いました。

区長は、「ケアする人をケアする視点を大切にしながら介護サービス基盤の充実に取り組む」と答弁。「区としても必要な人材確保・定着化を図ることは重要」とし、今年度は、ケア24への運営委託費の増額、ケアマネージャーへの公的研修費の助成を新たに実施した、と答弁しました。ケア24から届いた感謝の声も紹介しました。

#### 人材確保・定着の取組を提案

さらに私は、介護の人材不足に対する取り組みとして、他区で行っている介護従事者への家賃補助や定着奨励金、宿舍借り上げの支援事業、介護の魅力発信などを提案しました。

区は、他区の実施状況を研究し、令和7年度当初予算編成において検討すると答弁しました。

今後も、介護従事者や事業所の声を届け、取り組みの強化を求めています。

## 放課後等デイサービスについて

放課後等デイサービスは、障害児の居場所として重要ですが、杉並区は、他区に比べ事業所数が少ないのが実態です。こうした実態に対する区の認識を問いました。

区は、今年度からの区独自支援により7事業所が開設を予定しており、今後増加は期待できると答弁。利用者、事業者からは評価の声が届いているとの答弁がありました。

## 都道補助133号線について

補助133号線の地域でも「デザイン会議」が予定されており、住民主体の協議体に行くことや、今後も住民の意見を都に伝えるよう求めました。

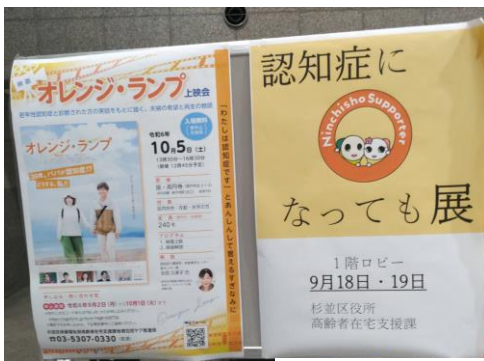
区は、「デザイン会議」は住民と共に学び考える会にして行く。今後も住民意見は都に伝えていくと答弁しました。

また、東京都の土地収用制度の方針変更について、区は、すぐに収容権を発動するわけではなく、地権者の生活再建に十分な配慮をしつつ任意での契約合意に向けた取り組みに努める、と答弁しました。

今後も、区民の声を区に届け、住民生活を守るために全力を尽くしていきます。



## 「私は認知症です」と安心して言える杉並区に！「認知症になっても展」



9月21日は「世界アルツハイマーデー」。

9月18・19日は、区役所ロビーにて、展示会が行われました。

認知症になってもその人らしく生きられるように、区民への意識啓発を行っていました。



## 健康の話 夏の疲れを残さないために

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われています。最近、暑さもようやく落ち着いてきました。みなさんいかがお過ごしでしょうか？

夏の疲れからか、やる気が出ない。体がだるい。疲れやすい。食欲がない。肩こり・頭痛などがある。こんな症状はありませんか？このような症状を最近では「秋バテ」と呼んでいます。

「秋バテ」の原因は、季節の変わり目で、日々の気温差や気圧の変化が大きくなり、身体が上手く順応できず自律神経が乱れがちになることなどからです。

「秋バテ」を予防するには、夏の生活習慣で疲れた身体を秋の生活習慣に変えていくことが大事です。

① **服装** 一日の気温差が大きくなり、この変化に身体がついていけないこともあります。脱ぎやすいカーデガン、ジャケットを持ち歩くといいです。

② **入浴** 身体が冷えると「秋バテ」しやすくなります。38℃～40℃のお風呂にゆっくりつかるといいです。

③ **睡眠** 睡眠は、身体の疲労を回復してくれます。午後10時～午前2時の間は寝るようにしましょう。

④ **運動** 適度な運動は自律神経の動きを整えます。毎日20～30分ウォーキングやストレッチするのがいいでしょう。

⑤ **食事** 朝食は抜かず、3食一定の時間に食事を取りましょう。たんぱく質やビタミンB（豚肉、ウナギ、大豆、ほうれん草、ゴマなどに多く含む）を取りましょう。

お困りのことがありましたら酒井にご連絡ください。

